



名城口腔 外科通信

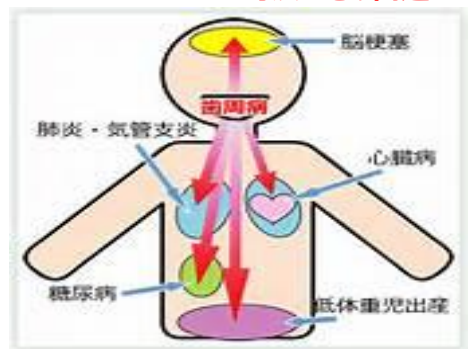
～歯周病ってどんな病気か
知っていますか？～
平成28年6月号

皆さんこんにちは。いよいよ梅雨の季節ですね。口腔外科から眺められる、きれいな新緑の景色に毎日癒されていましたが、それもしばらく雨でお預けとなりそうです。さて、6月といえばアジサイ…のお話しをしたいところですが、歯科の分野では6月4日～10日まで「歯と口の健康週間」となっています。そこで今日は「歯周病」とはどんな病気であるのかを、皆様に理解していただきたいと思います。実は歯周病は全身疾患とも深く関係しているのですよ。ご存知でしたか？

「歯周病とは…細菌感染によっておこる、炎症性疾患です」

<p>健康な歯肉</p>		<p>歯肉が健康な時、歯は歯茎(歯肉)・歯槽骨・歯根膜などによってしっかり保持されています。</p>
<p>歯肉炎～軽度の歯周炎</p>		<p>歯の周りに歯垢(プラーク)がつくことで歯肉に炎症が起り、歯肉が腫れるようになります。</p>
<p>中等度歯周炎</p>		<p>歯周ポケットが深くなり、歯を支えている骨(歯槽骨)が溶けて喪失されます。歯を磨くと出血もみられます。</p>
<p>重度歯周炎</p>		<p>歯槽骨が2/3以上喪失し、歯がグラグラになり、最終的には抜けてしまいます。口臭はよくなります。</p>

歯周病を放っておくと… ～全身疾患との関連～



歯周病によって増殖した細菌は口の中だけでなく、気道や血流を介して肺や心臓に入り込み、肺炎や心疾患の原因になります。また、歯周病によって誘導された炎症性サイトカインが糖尿病や早産を誘発する事が多くの研究から明らかになっています。



- 歯周病は、
- ・歯の正しい磨き方を身につける
 - ・定期的にかかりつけの歯科医院へ通う
- ことで予防することができます。毎日の歯磨きを再度見直してみましょう。